

# 家庭学習の手引き

京丹後市立黒部小学校

保護者の皆さんへ

黒部小学校では、子どもたちが基礎学力をきちんと身につけるためには、学校での授業が最も重要だと考えています。併せて学校と連動して、家庭学習も大切であると考えています。

そのため、家庭での学習が少しでも充実するようにと「家庭学習の手引き」を作りました。ぜひ家庭で活用していただければと思います。

## 1 子どもたちの学習に関心を持ちましょう。

- 毎日どんな学習があるのか、大体知っておきましょう。
- できる限り、声かけやどんな学習をしているか見てあげましょう。
- やったことを認め子どもをほめてあげましょう。わからないときなどは、子どもの相談にのりましょう。
- 家庭学習の大切さについて子どもと話をしましょう。

## 2 学習の環境を整えましょう。

- 親子で、1日のどの時間帯に家庭学習ができるか話し合しましょう。
- 学習しやすい環境で学習させましょう。  
文房具がきちんと揃っていて、すぐに使えるようになっていますか？  
教科書や辞書など、使いやすく整理できていますか？  
学習に関係ないものが、机に飾ってありませんか？

## 3 担任（学校）と連絡を取り合しましょう。

- 家庭学習を含め学習についてわからないこと、困ったことなどがあれば、小さなことでも相談してください。よりよい学習の方法など一緒に考えましょう。
- 家庭でがんばっていることなども、どんどん担任や学校に教えてください。

- 家庭と担任（学校）が連携していくことで、子どもたちのよさをさらに伸ばしていきましょう。家庭学習時間のめやす  
低学年・・・20分 中学年・・・40分 高学年・・・1時間

# かていがくしゅうのてびき(1,2年)

## 【かていがくしゅうをはじめるまえに】

- ◎がくしゅうをはじめるときは、テレビやゲームのスイッチをけしましょう。
- ◎かばん(ランドセル)の中の学校からのてがみやれんらくをいえの人にわたしましょう。
- ◎つくえの上をきれいにしてはじめてみましょう。



ていがくねんのべんきょうのめやすは、20ぷんです。

## 1 まいにちのかていがくしゅうは、しゅくだいからはじめます。

### ○ おんどくれんしゅう

☆こくごの本をこえをだしてすらすらよめるようにしましょう。

★すらすらよめるようになったら、かいわやまのとりかたにきをつけながらよみましょう。



### ○ ひらがな、かたかな、かんじれんしゅう

☆ひらがな、かたかな、かんじをただしくかけるようにしましょう。

★かきじゅんやおくりがなにもきをつけてかきましょう。

### ○ けいさんれんしゅう

☆ドリルやきょうかしよのもんだいを、ただしく、はやくけいさんできるようにしましょう。

## 2 しゅくだいがおわったら、かりた本やいえにある本をよみましょう。



# かてい学習の手引き(3,4年)

## 【かてい学習をはじめる前に】

- ◎学習をはじめるときは、テレビやゲームのスイッチをけしましょう。
- ◎かばん(ランドセル)の中の学校からの手紙やれんらくを家の人にわたしましょう。
- ◎つくえの上をきれいにしてはじめてみましょう。



中学年のかてい学習のめやすは、40分です。

## 1 まい日のかてい学習は、しゅくだいからはじめます。

### ○ 音読練習

- ☆国語の教科書で学習しているところをすらすら読めるようにしましょう。
- ★すらすら読めるようになったら、気持ちよく読んでみましょう。

### ○ 漢字練習

- ☆ドリルをよく見て書きましょう。
- ★書きじゅんやおくりがなに気をつけて書きましょう。



### ○ 計算練習

- ☆ドリルや教科書のもんだいを使って練習しましょう。
- ☆わからない問題は、教科書やノートを見て調べましょう。
- ★くり返し練習して、早く計算できるようにしましょう。

## 2 宿題が終わっても40分たっていないときは、自主てきな学習にトライしてみましょう。

### 【学習の例】

- ・日記 ・読んだ本の一言かんそう ・マス計算 ・プリントやテストのやり直しなど
- ・わからない言葉の意味調べ ・新聞記事をまとめたり自分の意見を書いたりする
- ・授業の予習、ふく習(教科書のもんだいをやってみる など)

# 家庭学習の手引き(5,6年)

## 【家庭学習をはじめる前に】

- ◎学習を始めるときは、テレビやゲームのスイッチを消しましょう。
- ◎かばん(ランドセル)の中の学校からの手紙や連絡を家の人にわたしましょう。
- ◎机の上を整頓して始めましょう。



高学年の家庭学習のめやすは、1時間です。

## 1 毎日の家庭学習は、宿題から始めます。

### ○ 音読練習

☆国語の教科書で学習しているところを中心に音読しましょう。

★「、」や「。」「速さ」に気をつけながら読みましょう。

☆慣れてきたら様子や気持ちを考えながら読みましょう。

### ○ 漢字練習

☆ドリルをよく見て書きましょう。

★書き順や送りがなに気をつけて書きましょう。

### ○ 計算練習

☆ドリルや教科書のもんだいを使って練習しましょう。

★わからない問題は、教科書やノートを見て調べましょう。

☆くり返し練習したり、時間を計ったりして早く正確にできるようにしましょう。



## 2 宿題が終わっても1時間たっていないときは、自主的な学習にトライしてみましょう。

### 【学習の例】

- ・日記 ・読んだ本の一言感想 ・マス計算 ・プリントやテストのやり直しなど
- ・わからない言葉の意味調べ ・新聞記事をまとめたり自分の意見を書いたりする
- ・授業の予習、ふく習(教科書の問題をやってみる、大事なところをまとめる など)
- ・自分の興味のあることについて、調べてみる